

(4) 取り組みを継続する (繰り返す)

このような取り組みも、一過性のものでは効果があがないと考えています。

このような取り組みは、継続して行くことが重要です。

取り組みを継続する中で、改善すべき点は改善していくことが、市民生活の安全安心の構築につながると考えています。

そのため、市は今後も取り組みが継続されるように、米海軍や国に働きかけていきます。



(5) 基地内の従業員への安全対策

原子力空母の最も近くにいる市民は、基地内で働いている従業員の方々です。これらの方々の安全が確保されることは、すべての市民の安全を確保することに繋がります。

そのため、市は、米海軍に対して従業員への安全対策を行うように、積極的に働きかけをしてきました。

その結果、従業員への通報システムの構築、従業員の訓練や研修などが行われる予定となりました。

具体的には、訓練については、今年の秋に行われる原子力防災訓練の項目の一つとして「基地従業員への連絡・通報訓練」が盛り込まれることとなりました。(6ページ参照)

研修については、来年春頃から開始予定で、米海軍では現在、そのための研修用ビデオを作成しています。